

平成30年度地域包括ケア推進事業について

1 各地域での取り組み

(1) 地域見守り活動について

市内の全町内福祉委員会で見守り活動を実施

*参考：81町内会で76福祉委員会が設置されている

(2) 地域ケア個別会議

個別ケースの支援内容について、ケアマネ、介護関係者、医療関係者、地域の関係者等多職種で検討する会議。地域包括支援センターが開催する。

地区	開催回数 (H31.1 末)
東山	8回
安城北	29回
篠目	25回
安城南	17回
安祥	57回
安城西	8回
明祥	5回
桜井	45回
合計	194回

医師参加回数 7回 (H29: 13回)
リハビリ専門職 5回 (H29: 6回)

(3) 地域ケア地区会議

地域ケア個別会議の積み重ねなどから地域の課題を挙げ、住民でできること、専門職でできること等対応策を検討し地域づくりや政策形成に結びつける。地域包括支援センターが開催。

地区	回数	主な内容
東山	2回	認知症の理解を深めるためには 高齢者に必要な活動・サービスについて検討
安城北	2回	認知症への対応力の向上
篠目	2回	地域住民と専門職のつながりを深める 8050世帯の問題について
安城南	2回	地域住民と専門職が共に取り組める介護予防
安祥	3回	福祉委員会とケアマネジャーの関係づくり
安城西	7回	地域住民と医療・介護・福祉専門職との連携を深める 地域の見守り体制について
明祥	1回	運転免許証を返納した後、わたしならどうするか
桜井	6回	認知症になっても安心して暮らしていくためには アルコール問題を抱える人への支援について 見守り協力店の活用について

【資料 2-1】

(4) 成果

すべての地区で、医師、歯科医師、薬剤師、介護関係者、地域住民が参加し、医療、介護を含めた話し合いができています。地区によっては、小学校区等対象地域を狭くして検討したり、医療福祉の関係者だけの地域ケア地区会議を開催するなど地域の特性により開催方法を工夫し、地域の問題を住民と専門職とで共有することはできました。

(5) 課題

地域包括ケアや認知症などの説明を含めて開催することも多く、限られた時間の中で地域課題の解決策の検討までできていない。具体的な解決策の検討、保健福祉部会や地域ケア推進会議への提案など地域包括ケア推進に向けたスキルアップが必要である。

2 地域ケア推進会議

(1) 開催回数 12回（毎月開催）

(2) 参加者 15の部会から代表者2名（小規模多機能部会は1名）

(3) 参加部会

病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーションネットワーク、訪問リハネット、ケアマネット、小規模多機能部会、デイネット、ヘルパーネット、施設、グループホーム、保健福祉、地域支援（民生委員・町内会長）、住まい

(4) 主な検討・協議内容

ア 各部会の研修について

イ 各部会の検討結果等について

ウ 在宅医療の普及啓発→福祉まつり、広報特集、在宅医療ガイドブック完成、劇団サルビーの講演など

エ 認知症施策について（あいちオレンジタウン構想に関する事業の実施、認知症高齢者捜索声かけ模擬訓練・見つかるつながるネットワークの運用など）

オ 自動消火器の給付要件に関する検討

カ 医療・介護連携のための連絡票の作成

キ ICTを活用した情報共有システム「サルビー見守りネット」の運用拡充（他市と広域連携協定締結、システムバージョンアップに向けた移行の検討）

ク 高齢者の住まいについてのアンケート結果から課題の共有

ケ 訪問栄養指導事業について

コ 安城市における在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討（看取りの課題等）

サ 医師、ケアマネ間の情報提供に用いる書式の作成

シ 病院の機能について（病棟による機能の違いと病院の現状）

【資料 2-1】

(5) 各部会主催による研修会の開催

主催した部会	内 容
病院	多職種ワークショップ研修会 「多職種連携（IPW）の障壁を低くするためには」
医師会	安城市エンドオブライフ・ケア研修会
薬剤師会	在宅医療におけるかかりつけ薬剤師の役割
歯科医師会	口腔ケア研修会「口腔ケアの実際」
訪問看護ネットワーク・ ケアマネット	訪問看護とケアマネジャーの相互理解を深めるための研修会
訪問リハネット	自立支援を目的としたリハビリテーションの視点を学ぶ～地域ケア会議に呼ばれたとき、お役に立てる療法士を目指して～
施設	多様化する福祉人材について ～外国人雇用の現状と課題～
デイネット	地域と事業所と他事業所との連携づくりについて
グループホーム部会 小規模多機能部会	認知症のBPSDへの対応と地域密着型施設のあり方について
保健福祉	支援における家族理解 ～8050問題から考える制度の狭間問題の家族支援とネットワーク支援の在り方～
ヘルパーネット	生活サポーターとの連携 ～あんジョイ生活サポーター養成研修の内容について～

(6) 部会ごとにテーマについて検討

部会名	検討テーマ
病院	緊急時の受入
医師会	在宅医療の充実に向けて
歯科医師会	他部会との連携について
薬剤師会	多職種連携
訪問看護	ケアマネジャーとの相互理解を深める
訪問リハネット	リハビリテーション専門職の多様性と可能性
ケアマネット	医療機関との連携シートについて
小規模多機能	地域包括ケアシステムにおける小規模多機能型居宅介護の役割
デイネット	①地域・事業者間の連携について ②介護人材確保の為の取り組み(職場環境改善に対する取り組み)
ヘルパーネット	法改正に伴うこれからの訪問系サービスについて
施設	施設での看取り(特養・老健)について
グループホーム	①地域の認知症をサポートする支援の取組について ②各グループホームで困っていることについて

【資料 2-1】

保健福祉

社会資源や個別ニーズから地域の特性を見える化する

(7) 成果

- ア 関係者が顔を合わせる機会が増え、顔の見える関係づくりが出来ている。また、業務以外で交流する機会が増えている。
- イ 研修会を各部会で企画することで、多岐にわたる研修を開催できる。
- ウ 劇団サルビー見守り隊の公演の実施
- エ サルビー見守りネットの利用拡大（広域連携、バージョンアップ）
- オ 在宅医療の普及啓発を図るガイドブックの作成

(8) 課題

地域ケア地区会議から地域ケア推進会議への提案事項がなく、地域の課題に関する検討・協議につながっていない。また、課題を解決する事業化に至っていない。

3 介護予防・生活支援体制整備

(1) 主な取組内容

- ア 生活支援ネットワーク会議の開催
各中学校区で1～2回開催
- イ マッチング交流会&サロン博覧会の開催（1回）
- ウ あんじょうコミュニティBOOKの作成と活用
- エ 生活支援・見守り協力店
8中学校区で展開
- オ 町内会サロンや町内会健康体操教室への運営支援
- カ 高齢者地域生活支援等実施団体活動支援事業の活用支援
- キ 町内福祉委員会の見守り活動支援
- ク サロンなどの担い手を対象にしたリハビリ専門職による支援と助言
- ケ 住民活動の担い手養成のための支援
- コ 元気な高齢者が活躍できる場や機会の提供（2回）
- サ 介護予防啓発チラシの作成

(2) 成果

- ア 高齢者地域生活支援等実施団体活動支援事業申請（一般介護予防型）団体の増加
- イ 生活支援・見守り協力店の増加
- ウ 新規サロンの増加と既存のサロンの活動の充実

(3) 課題

- ア NPO 法人や生協、民間企業など町内会組織以外の活動についての把握とネットワーク化が十分ではない。
- イ 訪問系の生活支援を行う住民活動がない。また、要支援者等を中心に受け入れを行うサロンなどが少ない。
- ウ 住民活動の担い手不足

4 認知症・高齢者見守り事業

(1) 主な取組内容

ア 家族支援プログラム(全6回1コース)

イ 若年性認知症のご本人とご家族のつどい(3回)

ウ 高齢者見守り事業者ネットワーク事業

新たに4の民間事業者団体と協定(合計38事業者)

エ 見つかるつながるネットワーク*H31.1末

登録者：157名

行方不明件数(市に連絡があった件数)18件

オ 徘徊高齢者捜索・声かけ模擬訓練の実施

8中学校区とデンパークで開催

カ 広報あんじょう連載(全5回)

キ 認知症サポーター養成講座(H30.1末)

開催回数：23回 受講者数：686人(延サポーター数10,972人)

ク 認知症サポーターステップアップ講座の開催

2回1コースで開催 受講者18名

ケ 認知症初期集中支援チーム(H30.1末)

相談件数：291件 支援開始件数：9件 訪問回数：74回

コ 事業所職員向け認知症対応力向上研修(2回)

サ 専門職向け介護者支援力向上研修(1回)

シ 認知症サポート医療関係者の事例検討会(1回)

(2) 成果

ア 介護家族支援への理解が深まった。

イ 認知症高齢者捜索・声かけ模擬訓練を各中学校区で行うことにより、子供を含めたさまざまな世代へ周知ができてきている。

ウ 認知症サポーターステップアップ講座を開催し、地域活動に興味を持っている人と活動することができた。

エ 行方不明になっても早期に発見・保護ができています。

オ 専門職の認知症対応力向上ができた。

(3) 課題

ア 介護家族支援の取組を充実させる必要がある。

イ 認知症サポーター、ステップアップ講座修了者の活躍の場を増やす。

ウ 見つかるつながるネットワークの周知

エ 若い世代や企業への認知症の啓発の必要がある。